

各 位

平成 27 年 12 月 5 日 特定非営利活動法人 旧陸軍桶川飛行学校を語り継ぐ会

桶川市は本年 12 月から、耐震性不足という理由で旧陸軍桶川飛行学校跡地の全面閉鎖を決定しました。安全確保とはいうものの、保存工事の見通しもないまま全面閉鎖となったことは誠に残念に思います。

平成 20 年秋から 7 年余り、本会は市の立ち入り許可を得て休日に一般公開し、累計で 2 万 3 千人の皆さまにご来場いただきました。多くの皆さまにご支援いただきましたことに深く感謝申し上げます。本日、閉鎖をご存知なく遠方よりおいでいただきました方には誠に申し訳ありません。今のところ公開の見通しは立っておりませんが、本会は桶川市に対し臨時の公開を要望しています。再び公開できるようになりましたら、本会のホームページ、地元新聞などによりお知らせいたします。

平成 27 年 12 月 2 日、次のとおり、桶川市に要望書を提出いたしました。*要望内容は、閉鎖に対する本会の見解でもあります。

1 保存復元計画の具体的な見通しをお知らせ願いたい。

「整備完了まで閉鎖」の「整備完了」はいつごろとなるのか。（*本会で入手している現時点の情報では、早くても工事開始平成 29 年、完了は同 31 年 3 月。保存計画そのものも行き詰まっているように聞いている。工事開始までの対応は何も示されていない。）

2 月 1 回程度、安全を確保するため見学場所・コースや時間を限定した上で、一般公開することを可能にしていただきたい。

3 市は、文化財指定を目指す遺構として適切な維持管理をお願いしたい。（*「整備完了」または「工事開始」までに現建物補修の予定はない。）

この 7 年間、本会が建物周囲の環境整備や建物の維持補修をしてきましたが、今後、まったく建物内部に空気を通さない状態では老朽化が急速に進むことは明らかです。本会が行っていた程度の維持補修をしない限り、工事開始までに見苦しい状態になってしまうでしょう。このまま何の対応も取らずにいることは事実上、建物保存をしないというに等しく、自然倒壊してしまう可能性もあり、また、一般公開もしないとなれば、桶川飛行学校遺構の存在自体が忘れ去られてしまうのではないかと危惧するところです。

4 建物内で本会が展示していた資料は、一部でも他の公共施設などで展示できるよう取り計らいをお願いしたい。

ホームページ <http://www.okegawa-hiko.jp> 事務局 鈴木（電話 090-2554-7429）